

「イバテー養護学校通学用バス整備計画」署名式



署名後、ヴァレリオ会長と西林総領事



署名式の参加者

2007年9月6日、当館において、イバテーAPAEに対する我が国の草の根・人間の安全保障無償資金協力の贈与契約署名式をマリア・カタリーナ・カヴィシオリ・ヴァレリオ会長と当館西林万寿夫総領事の間で行いました。式典には同団体の関係者がヴァレリオ会長他3名出席しました。

署名後、西林総領事は当館内の草の根無償等の実績を紹介しつつ、長年にわたる同団体の活動に敬意を表した上で、「貴団体のバスは老朽化しており、安全装置の故障などにより安全上の問題を抱えながら送迎を行っていると同っており、この度の我が国の無償資金協力により生徒が安全に通学できるようになることを期待している。是非とも本件の供与式には参加したい。」旨挨拶しました。

ヴァレリオ会長からは、「この度、草の根無償資金協力により養護学校通学用バスを供与して頂くことになり、私たちにとってこの上なく喜ばしい限り。現在、APAEは209名の生徒を受け入れており、新しいバスの購入により経済的で安全な送迎が可能となる。私は25年間障害者のために活動し、施設拡張費や団体の維持費を獲得するよう努力してきたが、外国からの援助は初めてのこと。今回、私たちの申請に対し理解を示してくれた日本政府に対してお礼を申し上げる。」旨謝意を述べました。

案件名：「イバテー養護学校通学用バス整備計画」
被供与団体：イバテー障害者を支える親と友の会（APAE）
プロジェクト実施地：サンパウロ州イバテー市

契約署名日：2007年9月6日

供与限度額：128,103米ドル

案件概要：イバテーAPAEは1982年に設立され、195名（計画書提出現在）の身体・知的障害者が養護学校に通学しています。同団体は1985年型のバスで生徒の送迎を行っていますが、同バスは老朽化し、安全装置の故障や不足で安全上問題を抱えています。また、自動車検査でシートベルトの故障、ドアの開閉装置の故障等、計37箇所の違反が指摘されています。

供与品目：車椅子昇降機付の大型バス



85年型の所有バス



車椅子は針金などでバスの座席に固定されている